

「意欲的に学び、高めあい、地域から信頼され、誇りに思える学校」をめざして



布水だより No. 6

令和3年9月27日
布水中学校
校長 松田 英樹

令和3年度「全国・学力学習状況調査」及び「県基礎学力調査」の結果について

昨年は休校で国県の学力調査の一斉実施はなされませんでした。今年は5月に3年生を対象に行われ、結果が国県から返りましたので、本校の結果の概要と今後の学力向上の取組方針をお知らせします。

1 本校の結果の概要

(1) 教科に関する調査

全国学力・学習状況調査の本校の平均正答率は、国語、数学とも県平均と同程度で、全国平均をやや上回りました。県基礎学力調査についても、県平均と比べ遜色ない結果でした。

教科	全国学力・学習状況調査		県基礎学力調査		
	国語	数学	社会	理科	英語
全国平均との比較	△	△			
県平均との比較	—	—	—	△	—

【指標】 本校平均を全国平均・県平均と比較し、市教委の公表に準じて次の5段階で示します。

△△…5ポイント以上高い(上回る) △…2ポイント以上5ポイント未満高い(やや上回る)

— …2ポイント未満の差(同程度)

▼▼…5ポイント以上低い(下回る) ▼…2ポイント以上5ポイント未満低い(やや下回る)

(2) 質問紙調査結果(紙面の関係上、県との差が認められるものを一部、簡略化して紹介しています。)

①肯定的な回答が県平均を上回った主な項目

- ・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- ・学級生活をよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かし解決方法を決めていますか
- ・国語の勉強は好きですか

②肯定的な回答が県平均をやや上回った主な項目

- ・自分には、よいところがあると思いますか
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか
- ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりできていますか
- ・国語の授業の内容はよく分かりますか

③肯定的な回答が県平均を下回った主な項目

- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・他の生徒と意見交換したり調べたりするために、ICT機器をどの程度使用していますか
(週1回以上の回答)
- ・数学の授業の内容はよく分かりますか
- ・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか

2 本校の今後の学力向上の取組方針

(1) 各教科等における指導法の工夫

- ・調査結果から明らかになった各教科の課題を解決するため、これまでの学力向上の取組を検証し、例えば、次のように全教職員が力を合わせて指導法の工夫を行います。

【各教科の課題】

- 国語：文章の構成を正しく読み取り、文章の構成の工夫を考えること
- 数学：データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
- 社会：時代の特色を示す代表的な資料を選択すること
- 理科：柱状図を使った問題で地層の傾きを推定すること
- 英語：状況に合う英文に書き換えること

【指導法の工夫】

- 国語：既習の文章構成を再確認したり、作った文章の構成を相互評価したりする場を設けます。
- 数学：用語を定着させ、特徴を的確に捉えて論理的に説明させる授業展開を取り入れます。
- 社会：各時代を大観できる単元計画にし、特色を表にまとめ比較し説明できる活動を行います。
- 理科：柱状図の読み取り方を定着させるため、個々の手順の意味を理解できるようにします。
- 英語：語句や文法を自ら選択し、表現する言語活動を増やし、正確さを振り返る場を設けます。
- 全般：「自学ノート」を授業と関連付けたものにするなど、家庭学習の方法を工夫します。

授業のまとめを自分の言葉で書く取組について、書けない生徒への支援を充実します。
学びを広げ深めるイメージマップを生徒に配布し、主体的な学びをより意識させます。

(2) 教育課程の改善

- ・生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、特定の教科だけでなく、全教科やその他の教育活動にわたってよりよい教育課程となるよう、全教職員で実践を振り返り、改善に取り組みます。
- ・外部人材の活用や体験的な活動を通して生徒にとって実感のある学びとなることを重視します。例えば、次のような活動を取り入れます。（*印の付いたものは、昨年度行っておらず、今年度行うこととしたものです。実施済みのものと実施予定のものがあります。）

1年生：ピュアキッズスクール、ネット対策教室、弁護士いじめ予防講座*

2年生：SDGsの出前授業*、人権教育講話*、夢をはぐくむ進路講座（職場体験の代替）*、
目標を立てる進路講座

3年生：租税教室*

全学年：オーケストラ鑑賞*

(3) ICT教育の推進

- ・GIGAスクール構想により配備されたタブレット端末の活用を促進します。教師用端末が不足していますが、授業での活用頻度は高まってきています。
- ・教職員研修により、授業のねらいに応じた効果的な活用を進めていきます。
- ・本校が独自に行いました「夏季休業中を通じての持ち帰り」につきましては、保護者の皆さまのご理解とご協力により、実施させていただきました。充電器を含めたタブレット端末をそれぞれのご家庭でお使いいただき、健康観察やオンライン登校日に取り組むことができました。生徒は機器の使用に慣れてきて、入力作業なども徐々に円滑に行えるようになってきています。

布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時掲載していますので、ぜひご覧ください。
学校への質問やご意見などがございましたら下記へどうぞ。

連絡先 076-248-0039（担当 教頭 中野 ・ 主幹 黒川）

メール fusuityu1@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp